

本校ホームページで「上小っ子」を大きな字、カラーで見ることができます。
「上野原小学校」で検索、または URL <http://www.city.uenohara.ed.jp/uenoharashou/>

上小っ子

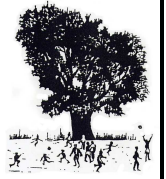
NO.10

上野原市立上野原小学校

発行日：平成30年1月26日

発行者：校長 中込 一雄

TEL：62-3104



子供の自立をサポートする3つの力

～菅原裕子さんの講演より～

先日「しなやかな心の育成フォーラム」が開催され、「子供の心のコーチング」と題し、NPO法人ハートフルコミュニケーション代表理事 菅原裕子さんが子どもの幸せな自立をテーマに講演されました。本校では伊藤教頭先生が参加しました。学校関係者だけでなく、小学校、中学校、高校のPTAも多く参加され、会場は満員だったとのことでした。上小の保護者や先生にも是非聞いてほしい、素晴らしい講演だったとのことでしたので、紹介致します。



以下、伊藤教頭先生がまとめてくださった原稿です。

★★

「生きる力」は、子供たちにつけたい力として、保護者のみなさんもこの言葉はよくご存じかと思えます。「生きる力」とは、「自ら学び・考え、主体的に判断・行動し、よりよく問題を解決する能力」と言うことができます。子供のこの能力を引き出すために、親として家庭で、先生として学校で、身近な大人としてできることは、为什么呢。

菅原さんによると、「生きる力」を引き出すために大人ができることは二つあり、一つは大人が「生きる力」を発揮し、大人の姿から子供がどう生きるかを学ぶこと、もう一つは、子供が「生きる力」を発揮しやすい環境を整えることだそうです。

では具体的に、子供が「生きる力」を発揮しやすい環境を整えるには、何をすればよいのでしょうか。子供に3つのことを教えてほしいと話されました。それは、「愛すること」、「責任」、「人の役に立つ喜び」です。

「愛すること」を教えると、自己肯定感＝自分という存在を肯定的にとらえる感覚を根付かせることができます。幸せに生きていくため土台となる大切な感覚です。大人のプラスの言葉がけで肯定感を育み、子供にプラスの行動が表れます。

「責任」とは、今起きていることを引き受け、それに対応することです。これを教えると子供の問題解決能力が育ちます。問題解決能力は子供の人生をよりよいものへと導きます。幼いうちに仕事を与え、小さな失敗をさせる、その時の見守りが大切です。

「人の役に立つ喜び」を教えれば、自分の力を自分のためだけでなく人のためにも発揮して、良好な人間関係を築けるようになります。お手伝いで親の役に立ってもらい、感謝や共感の言葉をかけます。「お母さんは、うれしい、ありがとう。」と・・・。

また、子供の年齢によって、できないからヘルプする保護者（守る）の立場から、できるようにサポートする親（見守り育む）の立場へと、親の役割も変わる必要があり、6、7歳が目安だそうです。もう過ぎてしまったと思われる方も、遅くはないとのことでした。

親として、教師として、子供の自立をサポートする3つの力、「愛すること」、「責任」、「人の役に立つ喜び」を教え、生きる力を開花させ、幸せな自立をサポートしていきたいと思いました。そして、子供の幸せな自立のためには、私たち大人が、自分をコーチングしていくことが大切だと感じました。

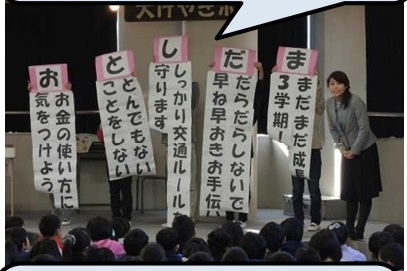
★★



1月の行事ダイジェスト

日	曜	主な予定
1	木	ドッジボール大会③委員会
2	金	6年授業参観 学年総会 避難訓練
3	土	
4	日	山日席書大会
5	月	
6	火	北教研 校庭開放日
7	水	上中新入生説明会
8	木	5年授業参観・学年総会
9	金	2年授業参観・学年総会
10	土	
11	日	建国記念の日
12	月	振替休日
13	火	3年授業参観・学年総会
14	水	4年授業参観・学年総会
15	木	1年授業参観・学年総会
16	金	きずなの日 北都P理事会
17	土	
18	日	
19	月	けやき学級総会
20	火	入学説明会
21	水	通学班編制・地区別下校
22	木	ありがとう給食会
23	金	
24	土	
25	日	
26	月	6年生を送る会準備
27	火	6年生を送る会 学校開放日 評議員会
28	水	学校集会 PTA 執行部会 学納金振替日

3学期の始業式が行われ、学年代表児童が今年1年の目標について発表しました。また、終業式で確認した5つの目標についての振り返りもしました。



5、6年生は鳴沢村のふじてんスノーリゾートでスキー教室をしました。5年生はスキーが初めてという児童が多かったのですが、午後にはスキーにも慣れリフトを使って滑るグループもありました。



校内書き初め大会を行いました。冬休み中に練習した成果を発揮できるよう、一生懸命取り組んでいました。審査会が開かれ、校内入選、地区入選、県特選が選ばれます。



学校独自に全校一斉に学力テストを実施しました。この1年間の学力の定着状況を確認し、今後の指導に役立てていきます。当日は、みんな真剣に取り組んでいました。



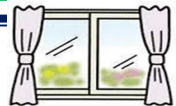
みんな一生懸命検定試験に臨んでいました。

「八重山検定」を始めました ～八重山や自然に関心を持てるように～

八重山ミュージアムや八重山の自然に関心を持ってもらうため、「八重山検定」を始めました。今、「本の惑星」（中学年図書室）に八重山に関する写真や展示を行っていますが、じっくり見ている児童は少ないようです。そこで、八重山ミュージアムの写真や展示物に関する内容を出題し、合格者には認定証を出すことにしました。

初級、中級、博士があり、難易度も増します。初級は○×問題、中級は3択問題、博士は記述問題となります。1月下旬は、初級の認定を行いました。中休み、ランチルームに大勢の児童が集まりました。早速、初級合格者が誕生しました。初級合格者は今後、中級、博士にも挑戦してもらいたいと思います。「八重山博士」が大勢誕生することを楽しみにしています。

校長室の窓



3学期の始業式で、「『1年の計は元旦にあり』という言葉がありますが、新年を迎え、この1年間の目標や計画を考え、その目標に向かって努力してください。」という内容の話をしました。そして、私自身の目標についても伝えました。

私の目標は校歌にあるように「楽しい学校、上野原」を目指すことです。上小の児童一人一人が、そして、先生方も楽しいと感じられる上小にしたいと考えています。「楽しい学校、上野原」を上小の合い言葉にし、いつも意識しながら取り組みたいと思っています。

そこで、「楽しい学校、上野原」という言葉を板に書き、低学年玄関と高学年玄関に掲示することにしました。近日中に設置する予定です。

